

仮面ライダー始めました(ありふれルート)

エボルト キルバス アマゾンズ

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

20××年1月1日に絵馬に転生したいと書いてから変身ベルトの棚を整理している  
と地震が起きベルトがおちてきて死亡そしてキバくビルドまでの力を手にありふれた  
職業で世界最強の世界に転生そしてはじめと一緒に奈落へ・

初心者投稿です暖かい目で見守ってください

# 目次

ありふれルート第一章

仮面な戦士とアニメが好きな人転生す

る | 1

ありふれた職業が奈落へ、そしてグリ

スが誕生 祝え!!! | 5

ハジメ仮面の戦士になる | 11



# ありふれルート第一章

## 仮面な戦士とアニメが好きの人転生する

（＊・ω・）ノ突然だが何処にいると思う？

女神様の前に居ます。

なぜかって？

俺はオタクで仮面ライダー好きで転生大好きな奴だからさ1月1日絵馬にこう書いたんだ

【転生したい】って！

そしたら、まじで転生しました（笑）

ちなみにここに来るためには死ななきゃいけないくて、

死ぬ時仮面ライダーのベルト棚を整理してただけど、地震が起きてベルトに埋まってるんだらしい。

あつと名乗ってなかった俺の名前は水野KGだ俺のあだ名であり本名をもじったものだよろしく。

女神「あのーそろそろいいですか？」

KG 「あっはい、大丈夫です」

女神 「実はあなたの絵馬を見まして、異世界の魂が足りなくてですね、転生したいとのことですので大丈夫でしょうか」

KG 「はい、あのー質問なんですけどなんの世界に転生するのでしょうか」

女神 「実はあなたには2つの選択肢がありました

1つ目がありふれた職業で世界最強

2つ目がこの素晴らしい世界に祝福を

ですどちらがいいですか？」

KG 「じゃあありふれで」

女神 「わかりましたじゃあ特典は何がいいですか」

KG 「じゃあオーマジオウってできますか？」

女神 「すいませんそれはちよつと無理ですごめんなさい」

KG 「いえいえそれじゃあキバからビルドまでつてできますか？」

女神 「はい大丈夫ですよ」

KG 「じゃあお願いします」

女神 「はい！でも申し訳ないので創造スキルと女神の祝福とボトル系を創造できるよ  
うにしておきます」

KG 「ありがとうございますごきます女神様あと最後に女神様の名前を聞きたいのですが」  
女神 「私の名前はじゃあツクヨミということで」

KG 「それじゃあツクヨミ様ありがとうございますごきました」

女神 「あ、そうでしたそうでした貴方は赤ちゃんからスタートですから、4才で記憶が戻るようにしておきます。それではあなたに女神の祝福があらんことを」

KG 「ありがとうございます女神様」

そうして俺は転生することになったのだ

そして現在12才

いまの名前は水野逢魔なぜか名前はオーマジオウ

しかも記憶がない間に原作主人公の南雲ハジメと仲良くなってた記憶が戻ったときにいやあ驚いたよね

そして俺以外にもイレギュラーがいた

緑谷出久（みどりや でき）こいつは緑谷出久わかっていると思うが

こいつはヒロアカの主人公の緑谷出久（いづく）が好きすぎてありふれなのに

ヒロアカ要素がある

ちなみにこいつはワン・フォー・オールとオール・フォー・ワンの両方持っている

十分こいつもチートだ、

まあ俺のチートにはかなわないんだけどな（笑）  
ちなみにこの世界でのオールフォーワンは見た相手のちからを使えるという効果に  
変わっている。

まあ俺にはそんなの効かないんだけどね



ありふれた職業が奈落へ、そしてグリスが誕生 祝え!!!

( \*・ω・ ) ノ昨日ぶりまあ現在転移直前です。

女神様から連絡きたよ

女神「あのー仮面ライダーの話なんですけどすいません不具合でディケイドに変身できなくなってしまいましたそれで他の女神達と話し合った結果オーマジオウの能力を渡すことになりましたおめでとうございます。」

KG「まじかちよつと残念だなディケイドに変身できないのはだけどオーマジオウの能力はスゲー嬉しいね」

女神「すいませんその代わりにディエンドをネオに変えておきますのでああ、一応カードはゼロワンの初期フォーム系まであるのであと仮面ライダーの強化アイテムは一部レベルアップで解放ですの。

ベルトはアイテム ボックス的なものからだせるので頑張ってください。」

KG「ありがとうツクヨミ様」

転移する直前

ポーズ

KG 「それじゃビルド系になってみよう」

ビルド ジーニアス スゲーイ モノスゲーイ

クローズエボル! パネーイ マジパネーイ

KG 「えつマジで エボルトいないで変身できるんだ」

KG 「じゃあ次エボルト系」

Are you ready

KG 「変身」

ブラツクホール!

ブラツクホール!

ブラツクホール!

レボリユーション!

フツハハハハハ

KG 「エボルフェーズ4」

じゃあ次ブラツドスターク

コブラ!

KG 「蒸血!」

ミスト マツチ!

コツコブラ！コブラ！ファイヤー

KG「そして怪人体、」

ファイバーフロ

フツハハハハハ

KG「そしてキバ系、来いキバツト」

キバツト「オツシヤーキバツていくぜガブツ」

ガルルセイバー

ドツガハンマー

バツシヤーマグナム

キバツト「来たつちやん」

タツロツト「いきますよー」

ガチャン

逢魔「こんくらいでいいかな、おっとそろそろ行くか」

タツタツタツタツ

リストアート

そしてまたまた飛びます

奈落へ落ちる直前へ

逢魔「ハジメー……！」

エボルドライバー！

オーバーザレボリユーション！

コブラ！ライダーシステム！

エボリユーション

A r e   y o u   r e a d y

逢魔「変身！」

ブラツクホール！

ブラツクホール！

ブラツクホール！

レボリユーション

フツハハハハハ

逢魔「クツソ……！」

そうして意識がなくなったハジメを抱きしめて……………

……………

ハジメ「何処だここ、つて逢魔?!大丈夫か?!おい！」

逢魔「んん、おはようハジメ、大丈夫だったか？」

ハジメ「ああ、逢魔こそ大丈夫か？」

逢魔「ああ、ところで急だが聞こう、ここは化け物ばかりしかないヤバイところだだが俺はお前のことを強くできる、そこでお前にはその覚悟があるか？」

ハジメ「ああ、こつちの世界に来たときからとつくにできてるよ。」

逢魔「よし、よくいったじやあまずあそこを錬成しろそこに神結晶と神水があるはずだ」

ハジメ「わかった」

逢魔「あったか?じゃあこれを食べ食いながら神水を飲めじやないと死ぬぞ」









ユエ「何処に？」

逢魔「オルクスの隠れ家さ」

ユエ「よく分からないけどあなたを信じる」

逢魔「ところでなんで頬を赤らめながら腕に抱きついてくるの？」

ユエ「ふふっ」

逢魔「ねえ、なになんなの怖いよ、ああもういいやとりあえず行くぞ！」

そしてオルクスの隠れ家

逢魔「おいハジメーグリス一式持ってこっち来い訓練するぞ！」

ハジメ「OK今行く」

逢魔「ハジメ使い方はわかるな？」

ハジメ「ああばっちりだ。」

逢魔「よし、じゃあ変身して見ろ」

ロボットゼリー

潰れるう

流れるう

溢れでるう

ロボットイングリスウ

おおおおおおおらああ

グリス「心火を燃やしてぶっ潰す」

逢魔「じゃあ俺も行くか」

コブラ

逢魔「蒸血」

ミストマツチ

コツコブラ……コブラ……ファイヤー

スターク『じゃあハザードレベルを凶りながら上げていくぞ』

グリス「ああ、いくぞ！」

スターク『来いよ』

そして

スターク『結局ハザードレベルは6，1まで上がったな』

ハジメ「ああ、もう動けねー」

逢魔「そろそろ飯の時間だ行くぞハジメ」

ハジメ「ちよ、ちよつと待って」ハアハア

ちよつと飛んで

逢魔「今日の晩飯はビーフストロガノフです」

ハジメ「おお、俺の好きなやつじゃん逢魔のビーフストログノフはめちやくちや旨いからなー」

ユエ「逢魔の作るビーフストログノフはすごく美味しい」ジュルリ

逢魔「それじゃあいただきます」「いただきます!!」